

平成29年度進行管理・評価シート
郡上市歴史的風致維持向上計画（平成26年2月14日認定）
（最終変更平成27年5月28日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 計画実現のための推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 八幡都市計画との連携	2
2 重要伝統的建造物群保存地区との連携	3
3 郡上八幡市街地まちなみづくり町民協定との連携	4
4 郡上市景観計画との連携	5
5 屋外広告物に関する規制との連携	6
6 郡上市観光振興ビジョンとの連携	7
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 歴史的風致形成建造物修理修景事業	8
2 歴史的建造物に関する修景助成事業	9
3 郡上八幡北町伝統的建造物群保存地区修理事業	10
4 防災設備整備事業	11
5 郡上八幡北町伝統的建造物群保存地区防災設備整備事業	12
6 電線類無電柱化事業	13
7 街路灯整備事業	14
8 道路修景事業	15
9 ポケットパーク整備事業	16
10 郡上八幡駅周辺整備事業	17
11 伝統的水利用施設整備事業	18
12 由緒書整備事業	19
13 空家利活用事業	20
14 城下町交通体系検討調査	21
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 伝統的しつらえ整備支援事業	22
2 祭礼活動及び用具整備支援事業	23
3 重点区域の文化遺産 記録作成・調査研究事業	24
4 重点区域の文化遺産 情報発信・人材育成事業	25
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 新聞報道	26
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 観光振興対策事業・観光施設整備事業	27

□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	28
-------------------------	----

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	平成29年度
計画実現のための推進体制		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 伝統的建造物群保存地区での事業検討や歴史まちづくりの推進のために、建設部都市住宅課、教育委員会社会教育課などによるプロジェクトチームを結成しており、情報交換とともに各課が協力した施策を展開する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

庁内プロジェクトチームが協力して、歴史まちづくりに関する事業の進捗管理、情報収集、資料作成等を行った。

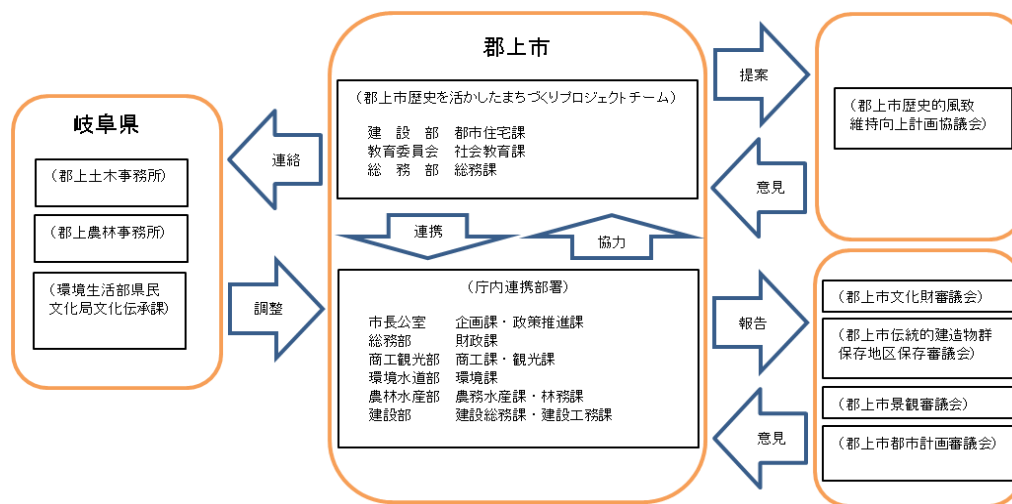
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

都市再生整備計画を活用した事業の推進にあたり関係部署との調整を行うため、より一層の連携強化を図る。

状況を示す写真や資料等



推進体制図

郡上市文化財保護審議会	
日程	内容
平成29年7月13日	郡上市の文化財について 平成29年度の文化財の関係事業の状況について 郡上市歴史資料文化財収蔵施設整備事業について
郡上市伝統的建造物群保存地区推進協議会	
日程	内容
平成29年7月28日	伝統的建造物群保存地区保存事業について 伝建地区防災事業について 伝統的建造物群保存地区保存事業補助金について
郡上市景観審議会	
日程	内容
平成30年2月16日	旧庁舎記念館塗装工事について
郡上市都市計画審議会	
日程	内容
平成30年3月2日	都市再生整備計画の事業進捗状況について 伝統的建造物群保存地区の事業進捗状況について



郡上市伝統的建造物群保存地区推進協議会



郡上市景観審議会

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	平成29年度
項目			現在の状況
八幡都市計画との連携			☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
計画に記載している内容	策定から概ね20年を迎える八幡都市計画マスタープランの見直しに際し、用途区域の追加、防災計画、交通計画等を地域住民と協働で検討していく。さらに、重点区域における快適な日常生活と四季を通じた観光との調和に配慮しながら歴史的な町並みの保全・整備を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
郡上市歴史的風致維持向上計画及び八幡都市計画マスタープランに掲げる施策等を具現化する、都市再生整備計画(八幡中央地区)の事業進捗と次年度計画を報告した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		重点区域内のまちづくりを推進するため、都市再生整備計画事業期間(H27～H31年度)以降も継続的な取り組みが必要である。	
状況を示す写真や資料等			



平成29年度 第1回 郡上市都市計画審議会

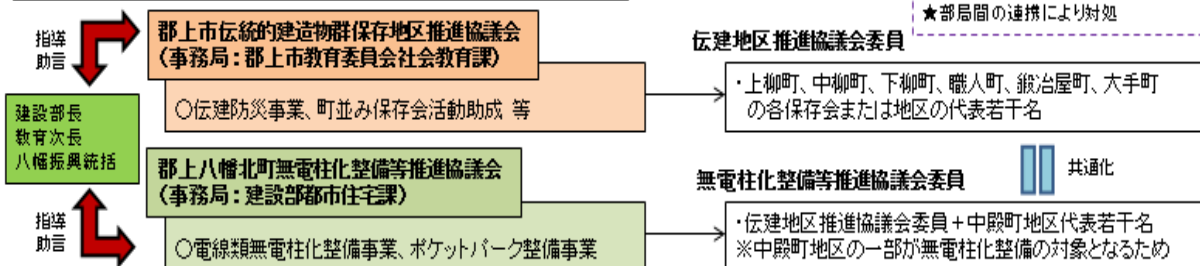
平成29年度 第1回郡上市都市計画審議会	
日程	内容
平成30年3月2日	社会資本総合整備交付金(都市再生整備計画)の進捗状況及び来年度の事業内容等について 郡上八幡北町伝統的建造物群保存地区について

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
重要伝統的建造物群保存地区との連携		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	文化財保護法と郡上市伝統的建造物群保存地区保存計画に基づき、建築物や周辺施設の修理や修景を行うとともに、景観向上や防災強化に取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
各部所管の伝建地区内事業を円滑に推進するため、郡上市伝統的建造物群保存地区推進協議会を1回、郡上八幡北町無電柱化整備等推進協議会を1回開催し、事業推進に係る合意形成を図った。なお、上記2つの協議会委員は、H27年度に無電柱化整備に着手した際に共通化を図り、会議開催は双方の協議事項がある場合は合同開催とし、一方のみの協議をする場合でも他方の事業進捗報告をするなど、協議会の開催が伝建地区との連携強化機能を果たしている。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		伝建地区内で各事業を実施するにあたり、消防本部や商工観光部など庁内関係部署との連携はもとより、地区住民への情報提供と共有化を図る。	
状況を示す写真や資料等			

伝建事業・都市再生整備計画事業を推進するための組織体制



郡上八幡北町無電柱化整備推進協議会 委員構成			
No	地区名	役 職 等	伝建協
1	上 柳 町	地区長	○
2		地区選出	○
3		地区選出	○
4	中 柳 町	地区長	○
5		地区選出	○
6		地区選出	○
7	下 柳 町	地区長	○
8		地区選出	○
9		地区選出	○
10	職 人 町	地区長	○
11		伝建審議会委員	○
12		地区選出	○
13	鍛 冶 屋 町	地区長	○
14		伝建審議会委員	○
15		地区選出	○
16	大 手 町	地区長	○
17		伝建審議会委員	○
18		地区選出	○
19	上 殿 町	地区長	○
20		伝建審議会委員	○
21		地区選出	○
22	中 殿 町	地区長	○
23		伝建審議会委員	○
24		地区選出	○
25	本 町	地区長	○
26		伝建審議会委員	○
27		地区選出	○

※伝建協＝郡上市伝統的建造物群保存地区推進協議会委員

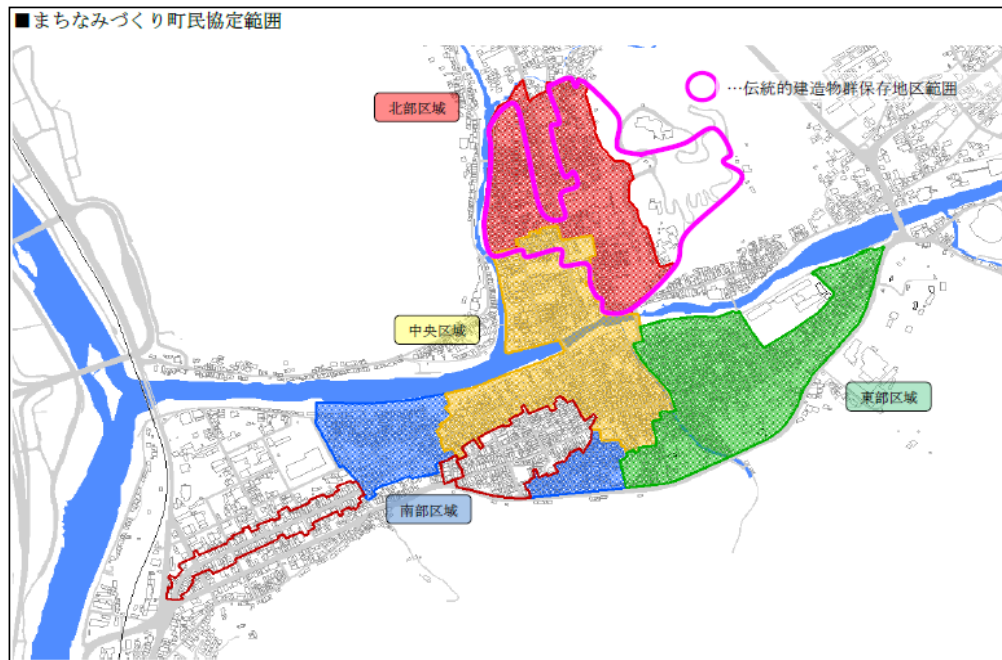
郡上八幡北町無電柱化整備等推進協議会
郡上市伝統的建造物群保存地区推進協議会
合同開催会議の様子

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
郡上八幡市街地まちなみづくり町民協定との連携		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	「城下町郡上八幡地区」内の中央区域、北部区域、東部区域、南部区域の37地区が協定を締結し、建築物、工作物の新增改築、除却、外観の変更行為に関して住民自らが基準を設けて審査を行い、景観保全を行っている。今後も、この協定を維持し、更に良好な景観形成になるよう取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重点区域内において、郡上八幡市街地まちなみづくり町民協定に基づき、建築物16件の審査を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		住民意識の維持はもとより、ハウスメーカー等市外建築業者への周知徹底が必要。	
状況を示す写真や資料等			

状況を示す写真や資料等



郡上八幡市街地まちなみづくり町民協定範囲図



審査員による建物審査の様子

評価軸②-4

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成29年度
		現在の状況
郡上市景観計画との連携		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容	地域の魅力ある景観とその創出に貢献する活動を、発見・推進し、将来へ守り育てていくため「郡上市景観百景」の認定制度を創設している。また、隔年で郡上市景観賞を実施し、郡上市の景観形成に著しく寄与していると認められる建築物、工作物、活動等を表彰しており、景観形成に対する市民意識の高揚と郡上市ならではの個性と魅力あふれるまちづくりの機運を醸成している。重点区域のように本市を代表するような特徴的な景観を有している地区や、住民自らが積極的に景観形成に取り組もうとしている地区については、住民等の合意形成に基づき、より重点的に景観形成に取り組む『景観形成重点地区』としての位置づけを目指す。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地域を守り育て、将来にわたって継承いくための地域独自の景観形成指針である景観マニュアルを策定：1地区
 景観マニュアルを策定し、郡上市景観百景に認定された団体のマニュアルに基づく活動：2団体

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	郡上市景観百景制度の周知徹底と住民意識の高揚のための継続した啓発活動。

状況を示す写真や資料等



白鳥町二日町地区 景観マニュアル

郡上市景観百景			景観マニュアル策定記録(白鳥町二日町)	
日程	会議	内容		
平成29年 5月 15日	組長会	景観マニュアル策定の進め方		
平成29年 6月 3日	専門委員会	今後の進め方を検討		
平成29年 7月 15日	専門委員会	文献による史跡等の調査		
平成29年 8月 20日	専門委員会	現地調査		
平成29年 9月 17日	第1回ワークショップ			
平成29年 10月 15日	第2回ワークショップ	城山 釜山古墳 他		
平成29年 10月 30日	専門委員会	報告書のまとめ		
平成29年 12月 12日	組長会	「景観百景」報告、承認		
平成30年 1月 18日	専門委員会	チラシ作成について		



ワークショップで地域の景観を確認



ワークショップの結果を現地で確認

評価軸②-5

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
屋外広告物に関する規制との連携		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	屋外広告の規制に関しては、現在は岐阜県条例を適用しているが、郡上市として独自の屋外広告物条例を制定する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
岐阜県屋外広告物条例に基づき、新規103件、更新112件の設置許可申請を受付。 郡上市景観審議会委員の協力を得て、重点区域内で屋外広告物に関する届出等の啓発活動と、屋外広告物の現状確認のための市内巡回を実施。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		重点区域において、郡上市景観条例及び市街地まちなみづくり町民協定による規制・誘導に加え、屋外広告物独自条例によりきめの細かいルールを定めるとともに、土地利用に関しても間接的な規制・誘導を図る必要がある。	
状況を示す写真や資料等			



屋外広告物の届出等に関する啓発活動



屋外広告物の現状確認

評価軸②-6

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
郡上市観光振興ビジョンとの連携			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	行政と市民が共に力を合わせて、観光のまちを意識し、自然と歴史・文化を大切に守りながら、本物と個性を磨いて魅力ある町づくりを推進することで、訪れる人に感動を与え、いつまでも愛されて次世代へ継続していくことを目指す。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
郡上市観光振興ビジョンに示す重点区域のまちづくりの方向性に沿った各種事業の展開を図った。 (伝建地区修理事業、なちなみづくり町民協定建物審査、電線類無電柱化事業、空き家活用事業)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		連携を図る事業及び取り組みを継続的に実施する。	
状況を示す写真や資料等			
 第5章 基本目標に基づく方向性 ・第5章 基本目標に基づく方向性 <抜粋> ① 城下町 八幡地域市街地は、近世に遠藤氏が郡上八幡城を築いて以来、城下町として発展し今日を迎えています。 平成25年12月に八幡地域市街地の北町の一部が重要伝統的建造物群保存地区に選定され、平成26年2月には郡上市歴史的風致維持向上計画の重点区域に市街地全体が認定されました。こうした中で、<u>八幡地域市街地の歴史的建造物を地域資源と捉え、保存および活用する取り組みを推進し、魅力ある町家・町並み景観を地域活性化の柱としていきます。</u> ○神社仏閣を活かす企画開発や電線地中化、旧庁舎記念館の壁面塗装など景観に配慮した取り組みによる城下町としての魅力向上の推進。 ○日本最古の木造再建築城である郡上八幡城の改修とその登山道の街路灯設置による城山一帯の整備事業を関係部局と協議の上推進。 ○郡上八幡城において郡上歴史物語の実演。 ○<u>郡上八幡市街地などの空き家活用の支援。</u> 参考: 商工観光部局H29年度事業 ・旧庁舎記念館外壁塗装事業			

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

状況を示す写真や資料等

状況を示す写真や資料等



歴史的風致形成建造物指定エリア(案)



島谷用水取水口



旧林療院本館



旧八幡町役場庁舎



長良川鉄道郡上八幡駅舎 跨線橋



長良川鉄道郡上八幡駅舎
プレートフォーム

歴史的風致形成建造物の指定候補(案)／公共等

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度
		現在の状況	
歴史的建造物に関する修景助成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成27年度～平成35年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重点区域内において、一般建造物を歴史的町並みに調和させる修景に伴う工事の一部を助成する。建造物と町並みの調和を確保するため、郡上市歴史的風致維持向上計画協議会において修景基準について協議を行い、ガイドライン等を策定する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重点区域における歴史的風致の形成に資する建造物の維持・保存のため、優先エリア及び回遊ルートの設定から、助成対象とする歴史的建造物及び一般建造物の候補の検討を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		歴史的風致に資する建造物保全のための建築基準と補助基準の確立。	
状況を示す写真や資料等			



優先エリア1における歴史的風致形成に資する建造物候補(案)



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
郡上八幡北町伝統的建造物群保存地区修理事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	重要伝統的建造物群保存地区保存修理費国庫補助		
計画に記載している内容	重要伝統的建造物群保存地区において、伝統的建造物等の保存修理等の基準に沿った整備に対し補助を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重要伝統的建造物群保存地区において、伝統的建造物等の保存修理等の基準に沿った整備に対し補助を行った。 ○修理: 6件 ○修景: 1件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	計画的に建築物の修理・修景を実施する。		
状況を示す写真や資料等			
修理(建物)   修理前 修理後 修理(建物)   修理前 修理後 修景(建物)   修景前 修景後			

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目			現在の状況
防災設備整備事業			☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成27年度～平成31年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	市街地の防災計画の策定に合わせ、伝統的建造物群保存地区外において災害抑制、地域住民による初期消火、消防隊による延焼遮断等、効果的に防災活動に取り組める設備導入を検討するとともに、修景整備も行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成26年度に策定された郡上八幡市街地防災計画に基づき、重点区域における自助・共助の取り組みについて、地区単位できめ細かい検討を行うとともに、地域防災に対する意識醸成を図るため、防災まちづくりワークショップを開催した。また、ワークショップの結果を反映した地区の火災対策マニュアルを策定し周知を図った。 公助として100㎡の耐震性貯水槽を1基整備し、消防水利の拡充を図った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		重点区域内の他地区においても継続的にワークショップを開催し、防災意識の醸成を図る。また、耐震性貯水槽等の整備を行う。	

状況を示す写真や資料等

平成29年度防災ワークショップ	
対象区域	
上・下桜町、上・中・下殿町、本町、肴町、上・下尾崎町、向山、東町一区・二区、初音一區、中坪四区、小野一丁目	
日程	内容
第1回ワークショップ 平成29年7月26日	テーマ：地図で確認 町の防災・現状と課題 参加者：15地区 59名
第2回ワークショップ 平成29年10月2日	テーマ：課題解決！方策を考えよう 参加者：15地区 52名
第3回ワークショップ 平成30年1月30日	テーマ：自助・共助による火災対策のまとめ 参加者：15地区 49名



防災まちづくりワークショップの様子



火災対策マニュアル(上殿町・中殿町)



防災まちづくりワークショップの様子



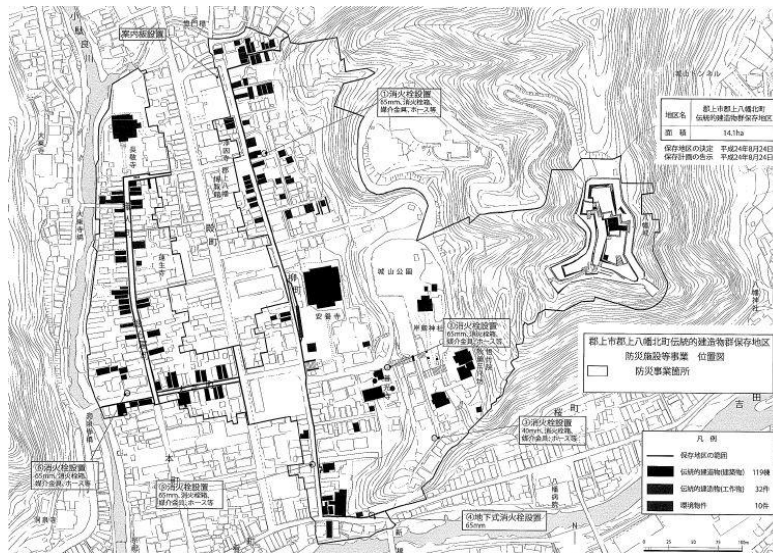
耐震性貯水槽整備工事完了

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況
郡上八幡北町伝統的建造物群保存地区防災設備整備事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成27年度～平成32年度	
支援事業名	重要伝統的建造物群保存地区保存修理費国庫補助	
計画に記載している内容	重要伝統的建造物群保存地区の防災計画に基づき、災害抑制、地域住民による初期消火、消防隊による延焼遮断等、効果的に取り組める設備導入を検討する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
平成26年度に策定された郡上八幡伝統的建造物群保存地区防災計画に基づき、伝建地区における公助の取り組みとして、平成30年度に新規で設置する消火栓設置位置の検討を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	消火栓増設など伝建地区における防火設備の充実を図る。また、設備設置の際には景観に配慮する仕様の検討が必要である。	

状況を示す写真や資料等



消火栓設置工事 位置図



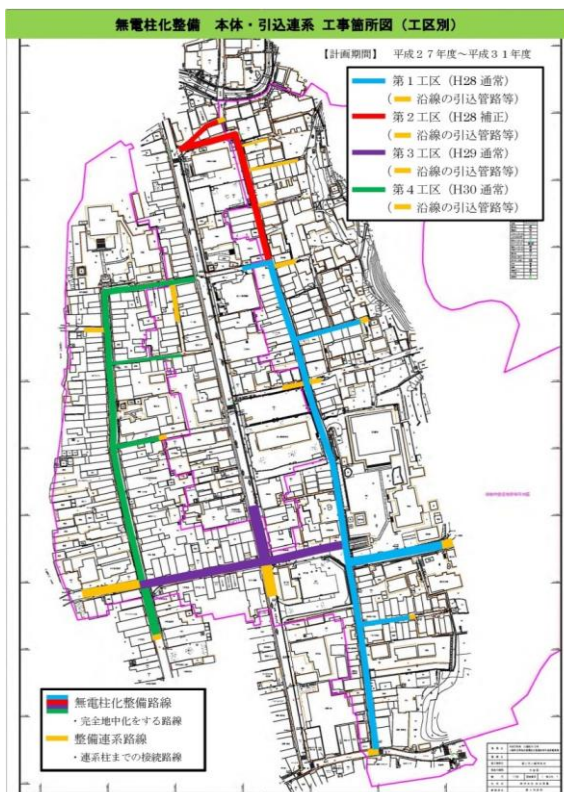
消火栓 設置(模型イメージ)

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目			現在の状況
電線類無電柱化事業			☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成27年度～平成31年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	重点区域内の市道鍛冶屋町柳町線、大手町鍛冶屋町線、殿町柳町1号線の3路線において、景観向上や市街地交通の円滑化とともに、災害発生時の緊急対応能力の向上のため電線類の地中化を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
第1期設計区間の柳町(上・中・下)において第1工区(L=555m)、第2工区の管路工事(L=175m)が完成し、第2期設計区間の大手町において第3工区の管路工事(L=220m)に着工した。 また、工事の進捗状況等について、伝建推進協議会兼無電柱化推進協議会報告(1回)、伝建審報告(1回)、都計審報告(1回)を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	実施設計及び整備計画に基づき着実に事業を推進する。		

状況を示す写真や資料等



無電柱化整備計画



施工状況(地上機器特殊部ハンドホール)



施工状況(電・通共用 I 型特殊部上下分割)



郡上八幡北町無電柱化整備等推進協議会



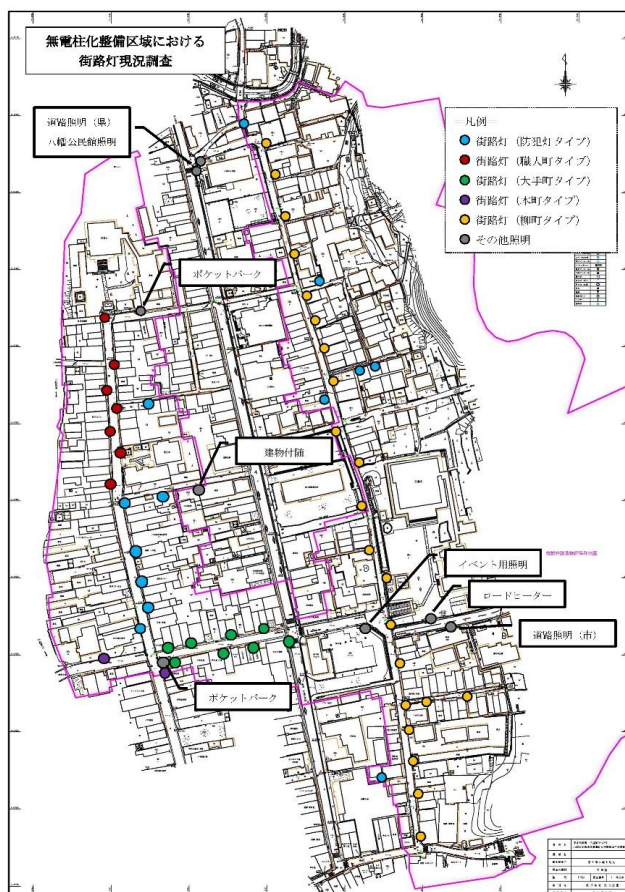
施工状況(管路布設 左:通信用、右:電力用)

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		平成29年度 現在の状況
街路灯整備事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成27年度～平成31年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)	
計画に記載している内容	重点区域内の市道鍛冶屋町柳町線、大手町鍛冶屋町線、殿町柳町1号線の3路線において、防犯防災設備向上のため、電線類の無電柱化に合わせて街路灯を整備するとともに、重点区域の景観向上を図る。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
平成27～28年度の電線共同溝詳細設計に合わせて実施した街路灯現況調査結果について、全体まとめ及び電気契約者の確認作業を実施した。 また、無電柱化推進協議会(1回)において、既存設備の地中化対応が困難であること、民地への街路灯設置が必要な箇所があることを説明のうえ理解を求め、平成30年度の詳細設計実施に向けた準備を進めた。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	既存電柱に添架されている街路灯の民地内設置に向けた場所選定と承諾、伝建地区全体の意匠統一に関して、平成30年度の予定で地元意見を反映した設計を進める。	

状況を示す写真や資料等

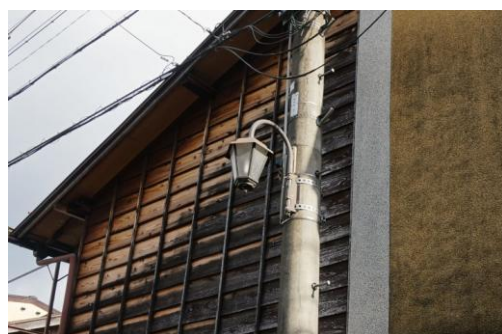


街路灯・防犯灯調査結果(全体まとめ)

調査箇所④ 大手町

【現況】
・街路灯(大手町地区統一意匠)【設置方法】
・自立柱 帝官民境界付近の永続天端に電柱されている。【設置者(電気契約者)】
街 路 灯 一 号 大手町商店街(確定)【対応方法】
◆地中化するには、街路灯に添着する75の立ち上げ管を整備するか照明柱を地中化対応の物に更新する必要がある。街路灯と同じ高さの立ち上げ管を整備するのは現実的ではないことから、伝建地区全体で統一した意匠の街路灯への再整備を検討する。

街路灯・防犯灯調査結果(個票)



既存の電柱添架街路灯

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目			現在の状況
道路修景事業			☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成27年度～平成31年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	重点区域内の市道鍛冶屋町柳町線、大手町鍛冶屋町線、殿町柳町1号線の3路線において、重要伝統的建造物群保存地区内の道路が周辺の環境と調和がとれるよう、電線類の無電柱化に合わせて、景観に配慮した道路舗装を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
無電柱化路線の舗装復旧工法選定の参考として、近年施工事例の増えているショットブラスト工法による舗装工事の計画について、無電柱化推進協議会において情報提供を実施した。 また、伝建地区周辺において新たに県道有穂中坪線(県土木発注)、市道新町城南町線で同工法による舗装工事(L=325m)を施工した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	新工法の採用については、実例による経年観察を行い判断する必要がある。		

状況を示す写真や資料等

①施工前



②路面切削



③舗設



④ショットブラスト施工



【調査】県道有穂中坪線の施工状況



【調査】施工から2年半が経過した八幡橋

評価軸③-9

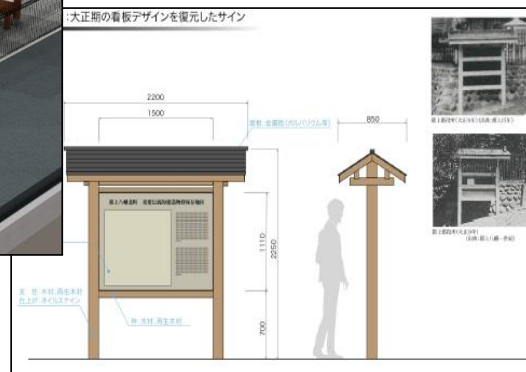
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況
ポケットパーク整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成27年度～平成31年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)	
計画に記載している内容	市道に隣接する公共施設(八幡公民館)の駐車場にポケットパークを整備する。また、歴史的風致やマナー啓発に関する情報を掲示する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
伝建地区内に一部が含まれるポケットパークの整備については、平成27年度に実施設計が完了したため次年度で整備する予定であったが、工事現場が耐震性貯水槽整備及び無電柱化整備と競合するため計画期間後半の平成30年度以降への延伸を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	事業実施について優先順位の見直しを図り、設計コンセプトに基づき整備を実施する。	

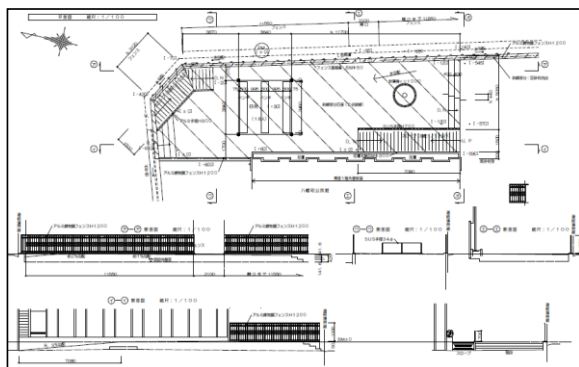
状況を示す写真や資料等



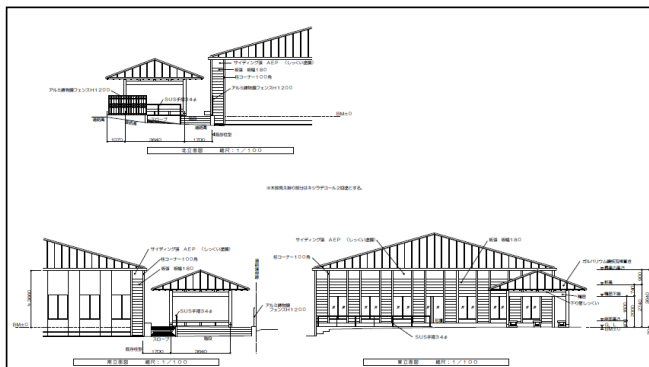
完成予想図



案内表示板



計画平面図



計画立面図

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
郡上八幡駅周辺整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成27年度～平成31年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	長良川鉄道 郡上八幡駅に付属する施設の整備(バリアフリー化)や、駅前ロータリーの改修を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成27年8月に国登録有形文化財に登録された郡上八幡駅を「観光鉄道機能強化の拠点駅」として、駅舎及び駅前ロータリーの施設改修工事に着手し平成28年度に完成した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	駅舎及びロータリーの改修(復元修理)に合わせて、プラットホーム、跨線橋等施設の改修検討も必要である。		
状況を示す写真や資料等			



改修工事着工前



改修工事完成

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
伝統的水利用施設整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成25年度～平成31年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	個人・自治会が所有する伝統的水利用施設の修景整備費に対して補助金を交付し、水環境施設の保全を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重点区域内で活用される伝統的水利用施設である、いがわ小径の共同洗い場(カワド)について柱や足場等の防腐処理等の改修をおこなった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	引き続き、特に重要な伝統的水利用施設については、機能回復のための必要な修繕や復原を図る。		
状況を示す写真や資料等			
 カワド改修前 ➡  改修後  カワド改修前 ➡  改修後  カワド改修前 ➡  改修後			

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
由緒書整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～平成31年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	伝統的水利用、郡上踊、大神楽に関する由緒書、活動紹介を設置する。(仮称)城下町郡上八幡案内サイン等整備ガイドラインを作成し、景観に配慮しながら分かりやすい案内板を設置する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
伝統的水利用施設の由緒書整備に向けて、設置箇所の検討、由緒書基本設計図面の作成を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	由緒書施設の意匠の統一化と多言語表示について検討する必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
由緒書整備対象 位置図(ヒアリング対象別) ● 歴史的建造物 ● 郡上踊 ● 大神楽 ● その他 ● 歴史的建造物 ● 郡上踊 ● 大神楽 ● その他 郡上八幡駅周辺図 由緒書設置箇所の検討			
① 自由立型タイプ(大、横断形、主目次表示用タイプ) ② 自由立型タイプ(中) 由緒書基本設計図面			

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
空家利活用事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成25年度～平成29年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	郡上八幡市街地空家空店舗状況調査の結果を踏まえて、町並みを維持するための空家の利活用として、住宅の賃貸だけではなく、まちづくりと連携した様々な活動提案を支援する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
H27年度より市が支援して設置した郡上八幡市街地空き家対策基金(100,000千円(市負担金99,000千円))を活用し、郡上八幡産業振興公社が各種事業を展開した。 ○空き家(町家)をリノベーションし賃貸物件として活用:6軒 ○空き家拝見ツアー参加者:26名 (※参考:ゲストハウスとして活用している3軒の宿泊件数実績:H29年度226件) (改修前の空き家8物件を見学)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		継続的に事業を推進する。	

状況を示す写真や資料等

八幡市街地空き家利活用事業 <枠組み>

空家所有者 → 賃貸 → 郡上八幡産業振興公社 (空家改修 空家賃付) → 転賃 → 借主

家賃納付(A) 家賃納付(A+3万円)

運用 原資の拠出(100万円) 補てん(年150万円程度)

① 空き家利活用基金 5,000万円

改修・修繕資金 ②③④⑤地域おこし協力隊派遣経費 350万円 ⑥空き家利活用事業執行経費 150万円

原資の拠出(4,900万円) 市

郡上八幡空家拝見ツアー

2018年2月17日(土)

参加費: 1300円(受付料) (集合・お茶会) 1300円 ツアー代 1800円 郡上八幡市 (1700円 以上で予約)

問い合わせ: 事務局 空家利活用 郡上八幡市 1800円 ツアー代 1800円 郡上八幡市 (1700円 以上で予約)

http://machi-ide.com/

チラシ(空家拝見ツアー)

実施状況(空家拝見ツアー)

チラシ(町家オィデナーレ) 空家・リノベ町家体験型イベント

実施状況(空家拝見ツアー)

チラシ(空家拝見ツアー)

やなかの大助(ゲストハウス)

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度
城下町交通体系検討調査		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成26年度～平成30年度

支援事業名 市単独事業

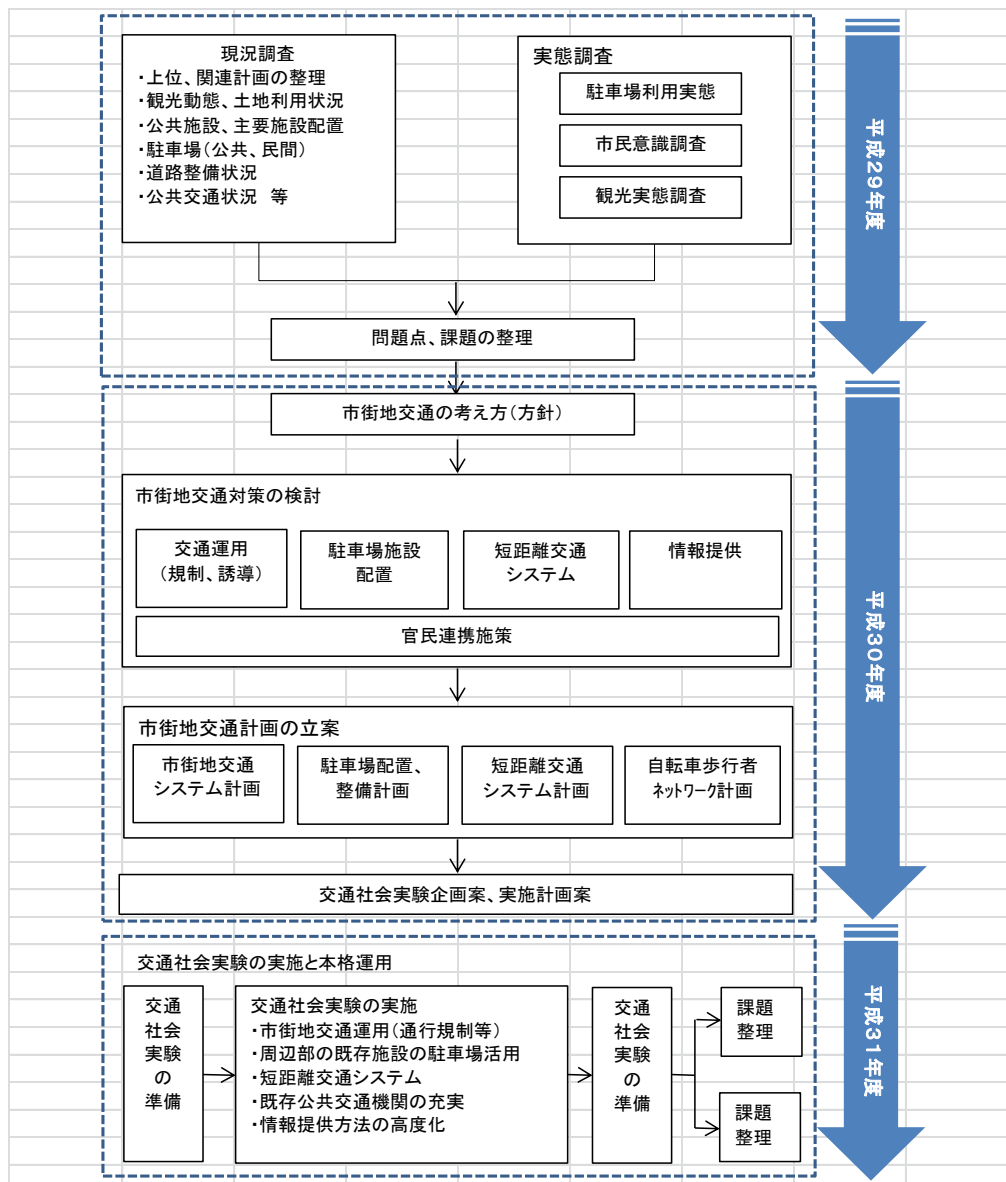
計画に記載している内容 有識者と地元住民を交えて現状の交通課題と風致を考察し、よりよい交通体系を検討するとともに、その成果を推奨観光ルートとしてパンフレットに反映させる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域の中心市街地における交通体系整備に向けて、現況を把握するため、駐車場利用実態の把握・交通実態の把握・市民意識調査・観光実態調査を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	交通体系の見直しについては、住民合意を必須とするため地元住民等による(仮称)交通円滑化検討委員会を組織し十分に協議する必要がある。

状況を示す写真や資料等



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
伝統的しつらえ整備支援事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	郡上踊や大神楽等、伝統的な町並みの風情を保つしつらえ設置に係る費用に対して助成を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度からの事業として、郡上踊や大神楽の祭礼が開催される地区の各家庭の軒先に吊るされている提灯や、高張り提灯の修繕や購入を支援するものであるが、平成29年度においては修繕や購入等の対象は無かった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	間接的支援から直接的な支援への制度の確立		
状況を示す写真や資料等			



日吉神社参道のしつらえ



軒先の提灯



本町通りの郡上踊大提灯

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
祭礼活動及び用具整備支援事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	毎年4月中旬に開催される春祭りにおいて、大神楽は市街地を巡行する。核となる三つの神社の衣装や小道具等の購入修理や練習活動を支援することにより、活動の活性化につながり歴史的風致の維持及び向上に寄与する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
郡上市の国県指定無形民俗文化財伝承支援事業を活用し、春祭りにおける岸劔神社、日吉神社、小野八幡神社の大神楽の活動を支援し、岐阜県文化財保護費補助金を活用して大神楽用具の新調、修理に対し支援した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		歴史的風致(大神楽)の担い手育成。	
状況を示す写真や資料等			
祭 礼 の 様 子			
  			
大神楽用具の新調、修理 (岸 劔 神 社) 大神楽用具の新調、修理 (日 吉 神 社) 大神楽用具の新調、修理 (小野八幡神社)			
 太鼓堂  太鼓・紐  鳥棒			
 幕  太鼓堂  獅子蚊帳			

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
重点区域の文化遺産 記録作成・調査研究事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	文化財の保存活用に携わっている団体や地域組織と連携して、文化財や歴史的環境の記録保存と調査研究を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
郡上市の文化財を保存・活用する観点から、市内全域を対象とした古文書や歴史資料、文化財等の収蔵及び古文書の解読など調査研究する施設として郡上市歴史資料館(文化財収蔵施設)が竣工した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		古文書等の一般への利用促進を図る。	
状況を示す写真や資料等			



祝 郡上市歴史資料館 竣工式



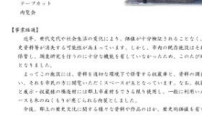
竣工式の様子



展示室



郡上市歴史資料館竣工式



郡上市歴史資料館完成



評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
重点区域の文化遺産 情報発信・人材育成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 ふるさとの歴史、文化、自然、産業等の魅力、価値とともに課題を学ぶ各種講座を開催し、風致を担う意識を醸成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「水文化」をキーワードにまちづくり活動を行う、「ちちこの会」と同じ目的で活動する「NPO法人郡上八幡水の学校」と共同により、夏休みの前半に郡上八幡の河川環境を楽しみながら学ぶことを目的として、幼児・児童向けの魚つかみどりや地元の方を講師に招き講座を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

学習・周知活動の継続による歴史的風致の継承。
児童、学生への啓発活動の実施。

状況を示す写真や資料等



魚つかみ体験



日程	内容
平成29年7月30日	アマゴのつかみ取り 川遊び体験

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		評価対象年度	平成29年度
年月日		掲載紙等	
きょうから郡上八幡春まつり		平成29年4月15日	岐阜新聞
奥美濃彩る大神楽		平成29年4月16日	中日新聞
神楽華やか		平成29年4月16日	岐阜新聞
奥美濃の夜 熱く		平成29年7月9日	岐阜新聞
夜通しげた鳴らせ 郡上おどり		平成29年8月14日	毎日新聞
軽快におどり明かす		平成29年8月16日	中日新聞
空き家や骨董、品定め		平成29年11月19日	岐阜新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

伝統的水利用、郡上おどり、大神楽やそれらが行われる町並みについて多くの新聞に掲載され、郡上市の歴史まちづくりを市内外に発信することができた。重点区域の歴史的風致について、日々の練習や関連する話題についても報道され、担い手としての気運が高まった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
 ■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



岐阜新聞(平成29年4月16日)



岐阜新聞(平成29年11月19日)



毎日新聞(平成29年8月14日)

<岐阜新聞社・毎日新聞社提

評価対象年度 平成29年度

項目

観光振興対策事業・観光施設整備事業

計画に記載している内容 郡上市観光振興ビジョンで示す取り組みとも連動し、交流人口の一層の増大にも貢献できる取り組みを進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

国内誘客及び主要観光施設の修繕等への取り組みを積極的に行ってきたことにより、重点区域における主要観光施設の入込客数が平成29年度では対平成25年度比で、郡上八幡城26,344人(122%)の増加。郡上八幡博覧館で、1,133人(101%)の増加となった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり

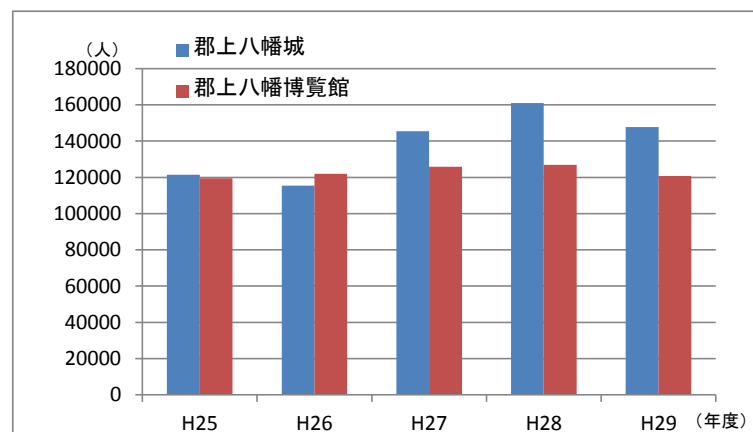
■計画の進捗に影響なし

通年での入込客数確保のため、継続した情報発信が必要である。

状況を示す写真や資料等

	H25	H26	H27	H28	H29	単位(人・%)
						H29/H25
郡上八幡城	121,463	115,408	145,544	161,088	147,807	+26,344(122%)
郡上八幡博覧館	119,547	121,959	125,818	127,003	120,680	+1,133(101%)

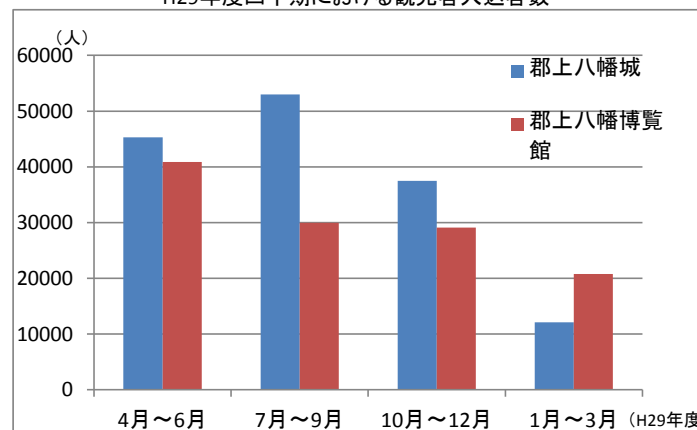
観光入込客数の推移表(過去5年間)



観光入込客数の推移グラフ(過去5年間)

	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	単位(人)
					合計
郡上八幡城	45,287	52,965	37,492	12,063	147,807
郡上八幡博覧館	40,886	29,964	29,077	20,753	120,680

H29年度四半期における観光客入込客数



H29年度四半期における観光客入込客数

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度 平成29年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称：
郡上市歴史的風致維持向上計画協議会

会議等の開催日時：
平成30年6月5日 午後1時30分から午後3時25分まで

(コメントの概要)

- 郡上踊りの屋形本体が建造から50年近く経ち老朽化が目立つ。歴史的な建造物という観点からも保存に向けて支援を検討していただきたい。
ふるさと納税やクラウドファンディング等の活用により全国的に支援が受けられるような体制作りについて検討をしてみてもどうか。
- 由緒書整備事業について、由緒書の設置に加えて、GPSの活用や電子化の計画を踏まえた検討を行っていただきたい。
- 伝統的建造物群保存地区防災設備整備事業について、これからさらに増加が見込まれる外国人観光客に対する避難誘導等、課題の検討を進めていただきたい。
- 郡上市の歴史的風致維持向上計画の今後の展開について、八幡中心街と旧町村部をつなぐための展開と工夫や郡上市の持つ魅力を活用したソフトの充実を図る等、今後の課題の検討を進めていただきたい。



郡上市歴史的風致維持向上計画協議会

(今後の対応方針)

- 歴史的建造物保存の観点からクラウドファンディング等の支援方法についても、郡上の神楽三神社が全国放映されることなどから、運営委員会で引き続き検討していきたい。
- 由緒書及び伝建地区整備事業においては、回遊性を高め全てを連動させる目的で、設置場所や多言語表示の案内看板等についても検討していきたい。
- 次期計画を考える上で、歴まち計画の関連事業の見直しやソフト面での支援等、今後の展開と工夫を長期的な課題として検討していきたい。